

2014年度 安全報告書

ご挨拶

当社は、宮島町と宮島口を結ぶ、一般旅客定期航路事業を営んでおり、島民の生活航路として、また、宮島観光に訪れる人々に対する交通手段として、高い公共性を有する海上運輸機関であります。

当社の経営方針は、お客様に安全で快適な船旅をお約束することにより、社業の発展に努め、社会に共通の利益を提供することにあります、なかでも「安全運航」の確保は、当社の公共交通機関としての第一の使命であり、最大のサービスであります。

このサービスを継続するため、以下の「安全方針」を策定し、これを「経営トップのリーダーシップ」の下で全社一丸となって徹底して実行することにより、輸送の安全を確保いたします。

さらに、この安全管理体制を十分機能させるため、経営トップを中心に安全推進委員会を年3回実施しており、安全上の監視を怠らず、必要に応じて問題点の把握・分析を行い、改善策を的確・迅速に実行し、全社員1人1人に安全意識を浸透させることにより、揺るぎない安全を構築してまいります。

宮島松大汽船株式会社

安全方針

1. 安全は輸送義務の最大の使命である。
2. 安全の確保は、規定の理解と遵守、執務の厳正から始まり、不断の修練によって築きあげられる。

3. 確認の励行と連絡の徹底は、安全確保に最も大切である。
 4. 安全の確保のためには、職責をこえて一致協力がなければならない。
 5. 疑わしいときは、順序や方法など手順を十分考えて、最も安全と認められる行動をとらなければならない。
-

2014年度 安全重点施策

1. 目標

- (1)「安全方針」により全社員1人1人が「海難事故ゼロ」を目指します。
- (2) 経営管理部門と乗組員の安全意識の向上に努めます。

2. 施策

- (1) 安全運航に関する教育、研修の場として、安全推進委員会を年3回実施します。
 - (2) 当社事故等の処理に関する訓練を年1回実施します。
 - (3) 経営管理部門と乗組員との面談を実施し、コミュニケーションの確保に努めると共に安全方針について理解度、浸透度の把握を行います。
 - (4)宮島口港湾整備に関して安全確保に努めます。
-

2013年度 安全重点施策の結果報告

1. 海難事故0件
2. 経営管理部門と乗組員による、安全推進委員会を年3回実施

(1) 実施日

平成25年4月23日 出席人員25名

平成25年7月18日 出席人員24名

平成25年12月17日 出席人員23名

3. 情報連絡訓練の実施(平成26年3月6日 出席人員20名)
4. 経営管理部門と乗組員の面談を実施(平成25年5月15日～6月3日間)
5. 接客研修の実施(平成25年7月13日 朝昼2回開催 出席人員52名)
6. AED研修の実施(平成25年6月17、18、20日 3回開催 出席人員60名)

2013年度 運輸安全マネジメントレビュー会議の結果報告

マネジメントレビュー会議(平成26年4月7日)を実施し、平成25年度安全重点施策を見直し、平成26年度の安全重点施策の年間計画を作成した。

計画内容

1. 安全推進委員会を年3回実施。(4月、7月、12月)
安全運航に関する教育、研修を実施
経営管理部門より乗組員への情報伝達ならびに意見交換の実施
2. 事故等の処理に関する社内訓練(情報連絡訓練)の実施。(6月予定)
3. 経営管理部門と乗組員との面談の実施。(5月予定)
4. 経営管理部門による訪船を年4回実施。(4月、7月、10月、12月予定)
5. 接客研修及びAED講習の実施。

改善報告2014年度(2013年4月1日～2014年3月31日)

1. お客様の声

汽船「宮島」の1階シルバールームから出てすぐに左折すると車両甲板なので危ない。(H25.7)

シルバールーム出口に手摺柵を設置しました。(H26.2完了)

汽船「宮島」「厳島」2階の階段付近に滑り止め塗装されていないところがあり、滑るので危ない。(H25.9)

滑り止め塗装しました。(H25.12「厳島」完了、H26.2「宮島」完了)

2. 安全推進委員会の意見(改善)

宮島旅客棧橋両サイドの防舷タイヤが傷んでいるので交換をお願いします。(H25.4)

交換しました。(H25.11完了)

宮島口旅客棧橋の防舷材吊下げ金具の修理をお願いします。(H25.7)

修理しました。(H26.3完了)